



湿原散歩

9月の最高気温が管内6地点で更新した。標茶町でも31.7度を記録し、昨年より1度高かった。年々気温も上昇傾向にあり、北海道も気候変動の影響を受けている。夏イカやサンマの不漁で、食の風物詩も変わってきているようだが、旬のものを食べられない物足りなさに、この先、我々の生活を含め、食の文化も徐々に変貌してゆくのだろうか。10日を境に気温も下がり、湿原に吹く風も入れ替わった感じがする。湿原や湖畔沿いに広がる樹木の葉も黄色くなり始め、その根元にある蛇の松明（コウライテンナンショウ）の先端が赤く輝いていた。



塘路フィールドノート【8/15~9/14】

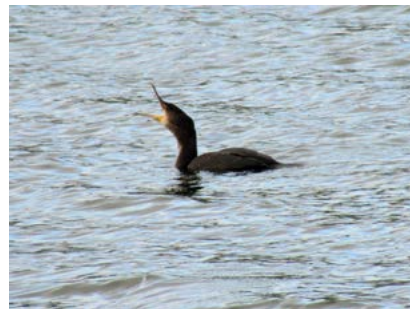
【野鳥】

9月中旬を迎え、野鳥の動きや羽根の色などに秋らしさが見られるようになってきました。さらに、渡り鳥の姿も少しずつ見られるようになるなど、残暑厳しい中でも、野鳥たちの季節は着実に秋に向かっていくことを実感します。



ノスリ (サルルン展望台)

展望台の背後から上がってきたところ。上空を何度も旋回して獲物を探していました



カワウ (塘路湖)

センター前の水域で見つけた一羽。昨年よりやや遅れて今秋の初確認となりました



オシドリ (塘路湖)

鮮やかな繁殖羽がすっかり抜け落ちたエクリップスの♂。春以来久々の確認でした



アオジ (塘路湖畔)

藪から枝の上ってきた幼鳥。今年は例年に比べて見かける機会が少ない気がします



ユサメビタキ (塘路湖畔)

最近よく見かけます。写真の個体は幼鳥で、こちらの存在に気づいていないようでした



ノビタキ (塘路湖畔)

冬羽に換わり始めていました。♀と思われますが、幼鳥か成鳥かはよくわかりません

【植物】

花のシーズンも最終盤を迎えた塘路湖畔ですが、まだまだ秋の花々が多く見られます。ただ、今年は同じ植物でも開花期の差が大きいようで、すでに実をつけたものがある一方、まだ蕾の状態のものが見られることもあります。



エゾトリカブト (塘路湖畔)

塘路湖畔の秋を代表する花。開花は8月中旬でしたが、まだ蕾もわずかに見られます



ヒヨドリバナ (塘路湖畔)

夏に開花する花ですが、まだわずかに咲き残っています。ピークは8月下旬頃でした



ネジバナ (塘路湖畔)

神出鬼没のランの花。個体数は多くないので、うっかりすると見過ごしてしまうことも…



チドリケマン (塘路湖畔)

やや日陰の場所で見られます。周辺では割と普通に見られる花ですが、実は希少な花



サラシナショウマ (塘路湖畔)

塘路湖畔で最も遅く開花する花の一つ。ふわふわの花が風景に優しい印象を与えます



ミゾソバ (サルボ展望台登り口)

小さい花ですが、群生することが多く見つけやすい花。湿った場所で多く見られます

【昆虫】

初秋の塘路湖畔で抜群の存在感を放つのがチョウの仲間たち。今年は春先から初夏にかけて見かける機会が少なかったものの、ここに来て、色とりどりのチョウが湖畔を舞う姿が多く見られるようになってきました。



ミヤマカラスアゲハ (塘路湖畔)

鮮やかすぎる翅の青。見る角度によって様々な輝きを見せる翅の色に目を奪われます



ミドリヒョウモン (塘路湖畔)

サラシナショウマの花を訪れた♂。今年はこちら数年に比べて見かける機会が多いです



アカマダラ (塘路湖畔)

白い帯が印象的。翅裏も美しいチョウですが、残念ながらこの時は見られませんでした

◎最後のバードカービング展開催



令和元年度自然ふれあい行事「バードカービング初心者講座」参加者の作品展を7月19日から8月10日まで、当センターレクチャールームで開催しました。今回は釧路湿原の夏鳥「センダイムシクイ」をモデルに作り、参加者の思いの込められた作品を講師の沢田正雄さんの作品とともに展示しました。今回で20回目となり、その間、釧路湿原の野鳥をモデルに作り続けながら、その生態や環境についても学ぶきっかけとなりました。開催当時は講師と3年続けば良いかな！？と話していたのですが、これだけ続けられたのは、参加者の好奇心と熱意や講師の解かりやすく丁寧な指導のおかげでした。正直、紆余曲折もあった20年、ありがとうございました。

◎森の中はキノコがいっぱい

9月5日(土)、シラルトロ湖畔の蝶の森で、今年度2回目のキノコの観察会を開催しました。講師は前回と同じく北海道キノコの会の奈良泰世氏で、初秋の森で見られるキノコについて解説いただきました。数日前に雨が降ったことで、キノコがたくさん出ているこの日の森の中。秋のキノコに加え、8月下旬から暑い日が続いていたことで、まだ夏のキノコも多く残っており、そこかしこで個性的なキノコを見つけることができました。見つけたそれぞれのキノコの特徴についての解説に加え、キノコは樹木を分解したり、他の植物の成長を助けたりするなど、森の中で重要な役割を果たしていることも教えていただきました。

この日は周辺ではあまり見られないキノコも見られるなど、全部で30種類近くのキノコを観察でき、収穫の多い一日となりました。参加者12名



10月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

ムックリ(口琴)を作ろう

[日 時] 10月17日(土) 13時～15時

[定 員・参加料] 10名 300円(材料費)

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

晩秋の湿原 野鳥観察会

[日 時] 10月24日(土) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] シラルトロ湖畔・蝶の森
(集合はシラルトロ自然情報館駐車場)

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

ザリガニウォッチング2～ニホンザリガニ編～

[日 時] 10月4日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで
(0154-65-2323)

◆日出・日入時間 8/15(4:27,18:25). 8/31(4:45,17:59). 9/14(5:00,17:34)

～編集後記～

■気温が高かった影響でしょうか、蚊の発生も少ない感じがしますが、気温も低くなってきたので、これから飛び交う姿を見かけるかも知れません。日没も早まり、午後5時30分すぎとなり、一気に秋の気配を感じるようになりました。そんな中、塘路湖近くにあるシラルトロ湖では、今年も越冬のため、ヒシクイの群れが飛来して羽を休める姿を見かけました。秋の深まりとともにその数も増えていくことでしょう。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

Instagram  torokoemc

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料